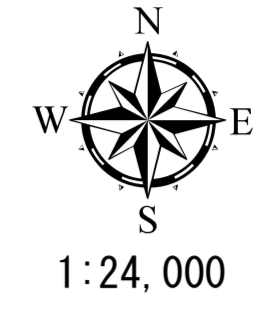


赤穂・相生港 津波防災情報図 (進入図)

計算条件：最高水面（零位）
 陸起量：平均 -11cm(-13cm ~ -7cm)
 Zo：1.00m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

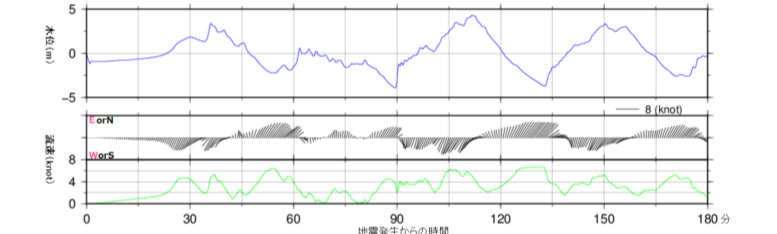
最大水位上昇

- 2~最大2.1m
- 0.5~2m
- 0.5未満

経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を時刻の経時変化図で示す。)

(例) 水位、流向・流速経時変化図



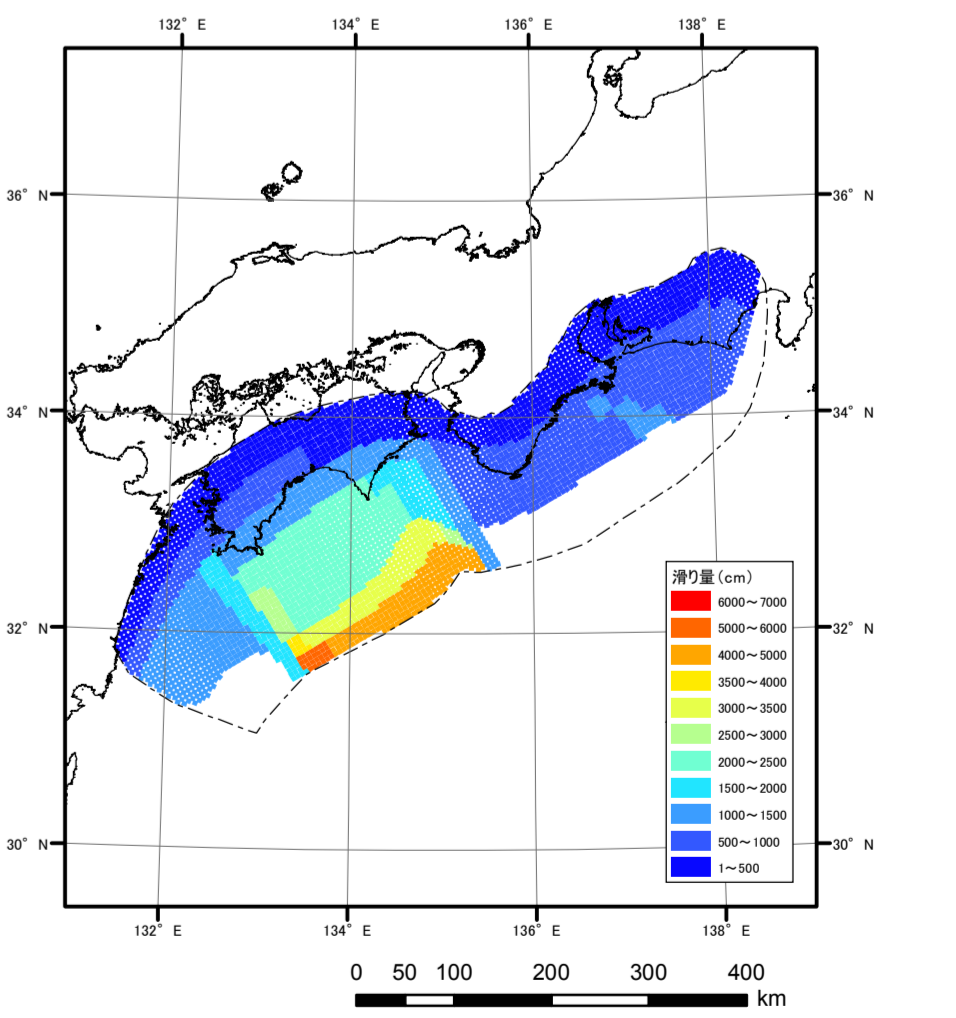
進入時最大流 [knot]

- 1.5 knot
- 1.0 knot
- 0.5 knot

○ 当海域は到達時間が複雑なため等時は描画しない。
 到達時間については、経時変化図およびアニメーションを参照されたい。

○ 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

断面モデル



ケース④「四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 X 10 ²⁷
平均すべり量 D (m)	10.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」（平成24年8月29日発表）により公表されたものである。
 使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基盤地図情報5mメッシュ (標高) ・10mメッシュ (標高) (国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

